

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービスみずたま

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3		スペースを活動用と休息用に分けています。	運動活動を実施する際は手狭に感じることもあるので整理整頓を心がけると共にお子さんの活動動線に配慮し、安全に過ごせる環境を維持していきます。
	②	職員の配置数は適切である	6	2		現在の直接支援職員は、児童指導員6名、その他職員1名です。毎日5人前後の職員が配置されています。	お迎えの時間帯には配置数に不足を感じることがあるので、適宜増員できるように努めていきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	2		トイレやトイレ入り口付近に手すりを設置している他、座位保持装置や車いすを必要に応じて活用しています。	今後は災害時の移動に活用できる物品を揃えます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1		オンラインを活用すると共に全ての職員が意見を伝えられるように複数回に分けて話し合いを行っています。	新入職員にも分かりやすい目標設定基準が欲しいです。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8			年に一回の保護者様向け評価を改善に向けて活用させていただきます。	保護者様向け評価以外にも、普段から意向を把握しやすい体制を作っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			お手紙配布にて公表しています。	今後もお手紙にて配布させていただきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	5	現在は外部評価を行っていません。	今後検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8			オンラインや資料などを活用し、全員が参加・理解できるようにしています。	令和7年度は、季節に応じた感染予防主義の研修を行う予定です。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	4		発達指標を活用しつつ、3か月毎に支援の振り返りを行ってアセスメントに生かしています。	発達指標の内容をより一層職員全体で理解・共有できるように活用していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	4		3か月ごとの支援会議の中でプログラムの検討をしています。	各お子様の「好き」をたくさん取り入れていきたいと思ひます
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	3		集団活動は体操やダンス・避難訓練のみにしつつ個別活動は個々の興味や状況に応じて行っています。	変化が苦手なお子さんでも安心して過ごせるように、ある程度は固定化をしつつ、長期休暇等で少しずつ変化を入れています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	4		学校休業日は約6時間利用なので、休憩や余暇時間を設けつつ放課後利用よりも課題を増やしています。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	3		集団活動は体操やダンス・避難訓練のみにしつつ個別活動は個々の興味や状況に応じて行っています。	その日の利用しているお子さんと各支援計画に合わせて集団遊びや運動活動の内容に変化を持たせています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	3	5		支援開始前には常勤職員で必ず打ち合わせを行い、その後各職員に伝達しています。	当日勤務していない・打ち合わせに参加しなかった職員も詳細について把握できるように、職員間の伝達を増やしていきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	5		支援終了後は(送迎に出るスタッフもいるので)オンラインで振り返りや伝達を行っています。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	2		日々の記録と共に3ヶ月ごとの支援会議の中で検証・改善を話し合っています。	日々の記録をもとにお子様の「好き」をたくさん見つけて、幅広い支援につなげていきたいと思ひます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	2		3か月ごとに主に常勤職員や各お子さんと関わりの多い職員を中心に振り返りを行い、支援内容を調整しています。	活動を通したお子さんの成長を、モニタリングを活用してご家族に伝えられるように努めていきます。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	5		療育活動や余暇活動を複数組み合わせ、お子さんが疲労感少なく楽しめるように配慮しています。	ガイドラインの内容を知らない職員もいるため、全員が周知できるように手に取りやすい場所に掲示します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			管理者・児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8			書類による情報共有や普段のコミュニケーションから情報共有を行っており、緊急時は電話で連絡をさせていただいています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8			主治医指示書を定期的にいただいています。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4		保護者様からいただいたサポートノートなどを主にして就学前の理解をしています。	今後も保護者様を通じて他事業所との情報共有に努めていきます
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			8	今年度は、卒業生はおりませんでした。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4		適宜児童発達支援センターの研修や企画に参加しています。	全職員が参加できるように、今後はオンデマンド配信がある研修等の周知を図っていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			8	外部の施設と事業所間交流はありませんが、希望者には放課後にわくわくへお迎えに行くようにして、一定時間障害のないお子さんと活動する時間を設けてもらっています。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	8			参加しています。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	2		帰宅時にご自宅での面談の他、必要時は電話やメールお手紙などを用いて日々の状況をお伝えしています。	ご家族の日頃の疑問を職員間で共有し、みんなで一緒に考え実践できるようにしていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	2		みずたままでのご様子や成功体験を伝え、課題への対応について話し合っています。	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時に説明をさせていただいています。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2		相談事があれば面談の他に電話やメール等受け付けております。遠慮なくお伝えください。	ご家族の日頃の悩みを職員間で共有し、みんなで一緒に考え実践し、ご家族にフィードバックできるように今後も務めていきます。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			8	現在保護者会等は行っておりませんが、みずたま内のお子さん同士の関わりについて伝えております。	今後もご家族同士がつながりを持てる方法を検討します。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			苦情解決に関する体制を整備し、契約時に伝えていきます。今年度は苦情はありませんでしたが、今後も適切に対応できるように努めています。	今後は契約時以外にも定期的に体制を周知していきます。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	3		年に2回「みずたまだより」を作成・配布しています。	HPを活用してより多くの活動報告や体制の周知を行っていく予定です。
	㉕	個人情報に十分注意している	7	1		個人情報取り扱い時には職員二人以上の体制でダブルチェックを行っております。	
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	2		ことばや表現の習得について情報共有し、実践しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	5	行事は行っておりませんが、地域の防災訓練に職員が参加しています。	
非常時等の対応	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1		各種マニュアルを策定し、事業所内に掲示すると共に、状況ごとの対応をみずただよりにてお伝えしています。	HPを活用してより多く体制の周知を行っていく予定です。
	㉒	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8			長期休暇中は毎日避難訓練を行っています。	
	㉓	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			年に二回以上研修を行っています。	
	㉔	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			身体拘束を行う必要性について定期的に会議にて話し合い、さらにその内容をご家族に伝え決定しています。	毎月虐待防止や身体拘束適正化について、支援会議にて話し合います。
	㉕	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			医師の指示書を確認した上で行っています。	新たに入職した職員にも周知するために、適宜全員で確認します。
	㉖	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			ヒヤリハット発生時は職員全員で詳細を共有し、事故予防に努めています。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。